



平成 20 年 11 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 10 月 6 日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐々木 克彦 TEL (03) 3486-3331

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 11 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 12 月 1 日 ~ 平成 20 年 8 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年11月期第3四半期	355,845	1.4	9,670	△18.6	9,798	△18.1	5,255	△9.5
19年11月期第3四半期	351,101	3.8	11,884	22.6	11,966	21.5	5,809	48.7
19年11月期	468,006	—	15,824	—	15,836	—	7,328	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年11月期第3四半期	34.53	—
19年11月期第3四半期	38.01	—
19年11月期	47.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年11月期第3四半期	299,903	163,609	47.6	940.98
19年11月期第3四半期	291,737	160,007	48.2	919.52
19年11月期	292,823	161,140	48.3	925.46

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年11月期第3四半期	10,682	△4,243	△2,638	31,373
19年11月期第3四半期	14,558	△8,542	△505	24,874
19年11月期	22,331	△11,166	△2,757	27,699

2. 平成 20 年 11 月期の連結業績予想 (平成 19 年 12 月 1 日 ~ 平成 20 年 11 月 30 日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	478,000 2.1	15,000 △5.2	14,800 △6.5	7,700 5.1	50.63

3. その他

- | | | |
|---|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） | : | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | : | 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | : | 無 |
- (注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧下さい。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定および本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関しましては、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、戦後最長となった景気回復が後退局面へ転じる中、原資材価格上昇の物価への波及などから個人消費は引き続き弱い動きとなりました。

このような環境の下、当社グループは中期経営計画の2年目をスタートし、独自技術を活かした付加価値の高い商品の開発強化、サラダの主菜化などの新しい食シーンの提案に努めるとともに、グループコストの低減を進めております。

当第3四半期における売上高については、3,558億45百万円と前年同期比47億44百万円（1.4%）の増収となりました。

利益面では、原資材のグループ一括購入や生産歩留りの改善などに努めたほか、販売促進費の低減を進めましたが、食油を中心としたコストの大幅な上昇を吸収するには至らず、営業利益は前年同期に比べ22億14百万円（△18.6%）減の96億70百万円、経常利益が前年同期に比べ21億68百万円（△18.1%）減の97億98百万円、四半期純利益については前年同期に比べ5億54百万円（△9.5%）減の52億55百万円となりました。

事業の種類別セグメントの概況は、以下のとおりであります。

＜食品事業＞

食品業界においては、安全・安心へ取り組む姿勢により厳しい視線が注がれる一方で、原資材価格が更に高値で推移する環境となりました。

主要原料の購買面では、鶏卵価格が穀物価格などの影響から上昇しました。また、食油価格が高騰を続け、これを受けて8月1日出荷分からマヨネーズおよびドレッシング類の価格を改定させていただきました。

このような状況の中、当社グループの食品事業の主な業績としては、調味料・加工食品事業においては健康訴求マヨネーズタイプなどが好調だったほか、サラダの主菜化戦略のもとにメニュー提案を進め需要の拡大に努めました。健康機能事業では、機能面で差別化したヒアルロン酸が食品・化粧品用途において伸長しました。タマゴ事業では、エクセルエッグ（生に近い機能を持つ殺菌液卵）などの機能性液卵が順調に推移したほか、乳化・焼成技術（とろっと技術、ふんわり技術を活用した商品など）を活かした高付加価値商品が拡大しました。サラダ・惣菜事業は、多品目の野菜を使用したサラダや「ハーフ」を用いた低カロリーサラダなどが好調だったものの、仕入販売品の取扱い商品数を絞っていることの影響などが出ました。

以上の結果、食品事業の売上高は2,841億44百万円と前年同期比18億15百万円（0.6%）の増収となりました。営業利益については、前年同期に比べ18億38百万円（△13.7%）減の115億60百万円となりました。

＜物流事業＞

食品物流業界は、燃料価格の高騰が続く中、出荷が全般的に低迷するなど厳しい環境で推移いたしました。

このような情勢の下、当社グループの物流事業は、流通業者を主な顧客とする専用物流やキューソースルー便が新規顧客の獲得により伸長したものの、食品メーカーを主な顧客とする共同物流は伸び悩みました。また、倉庫作業支援システムや移動棚などの運用による作業の効率化を図りました。

以上の結果、物流事業の売上高は717億円と前年同期比29億29百万円（4.3%）の増収となりました。営業利益については、運送の中継コストの削減や倉庫内業務の標準化などを推し進めましたが、予想を上回る燃料価格の上昇や合理化改善策の遅れもあり前年同期に比べ3億71百万円（△24.7%）減の11億30百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前期末と比べて70億80百万円の増加となりました。

資産の増減の主なものは、「受取手形及び売掛金」の増加30億15百万円、「たな卸資産」の増加25億52百万円、「前払年金費用」の増加26億93百万円であります。

負債は、前期末と比べて46億10百万円の増加となりました。増減の主なものは、「支払手形及び買掛金」の増加145億24百万円、「未払金」の減少77億84百万円、「賞与引当金」の増加27億79百万円、未払費用の減少などによる「その他流動負債」の減少52億53百万円であります。

純資産は、「利益剰余金」の増加32億27百万円、「自己株式」の増加11億46百万円などにより前期末と比べて24億69百万円の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、物価の上昇による生活防衛意識の高まりに加え、米国金融危機の経済への影響など、当社グループにとって予断を許さない環境が続くものと思われま

す。当社グループは、中期経営計画において「利益体質の強化と成長分野へのシフト」を基本戦略と定めております。この基本戦略にグループが連携して取り組むことにより、企業価値の一層の向上に努めてまいります。

食品事業においては、品質第一の姿勢を貫き、常に安全・安心な商品を提供することを基本として、各事業の戦略を連結することでお客様の嗜好にお応えするとともに、内食・中食・外食それぞれの分野で独自の技術や素材を活かした新しい食シーンの提案をしております。

物流事業では、新規顧客の獲得を進めながら、業務の標準化による在庫管理や荷役作業の効率化を加速するとともに、物流品質の向上に努めてまいります。

なお、本年7月9日に公表しました平成20年11月期の業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については簡便的な方法を採用しております。

その他影響額が僅少なものについても簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成19年11月30日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年 8月31日)		増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (平成19年 8月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流動資産							
現金及び預金	26,603		26,444		△ 159	28,976	
受取手形及び売掛金	70,120		73,135		3,015	71,102	
有価証券	5,000		5,000		—	—	
たな卸資産	16,971		19,523		2,552	17,560	
繰延税金資産	1,768		1,922		154	1,867	
その他	4,376		3,961		△ 415	4,620	
貸倒引当金	△ 518		△ 478		40	△ 533	
流動資産合計	124,321	42.5	129,509	43.2	5,188	123,593	42.3
固定資産							
有形固定資産							
建物及び構築物	118,674		121,017		2,343	117,838	
機械装置及び運搬具	119,656		120,843		1,187	118,135	
土地	40,243		40,308		65	40,383	
建設仮勘定	1,856		2,692		836	2,323	
その他	8,198		8,189		△ 9	8,151	
減価償却累計額	△ 169,359		△ 174,412		△ 5,053	△ 167,850	
有形固定資産合計	119,270	40.7	118,638	39.6	△ 632	118,982	40.8
無形固定資産							
のれん	—		—		—	7	
その他	2,473		2,268		△ 205	2,315	
無形固定資産合計	2,473	0.9	2,268	0.7	△ 205	2,323	0.8
投資その他の資産							
投資有価証券	21,987		21,345		△ 642	22,947	
前払年金費用	14,107		16,800		2,693	13,168	
繰延税金資産	489		447		△ 42	817	
その他	10,238		11,038		800	9,948	
貸倒引当金	△ 186		△ 158		28	△ 202	
投資その他の資産合計	46,635	15.9	49,474	16.5	2,839	46,679	16.0
固定資産合計	168,379	57.5	170,381	56.8	2,002	167,984	57.6
繰延資産							
開業費	122		12		△ 110	159	
繰延資産合計	122	0.0	12	0.0	△ 110	159	0.1
資産合計	292,823	100.0	299,903	100.0	7,080	291,737	100.0

（単位 百万円）

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成19年11月30日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年 8月31日)		増 減	前第3四半期 連結会計期間末 (平成19年 8月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)		%		%			%
流動負債							
支払手形及び買掛金	38,804		53,328		14,524	40,618	
短期借入金	14,979		15,484		505	17,443	
未払金	22,630		14,846		△ 7,784	20,126	
未払法人税等	4,019		2,259		△ 1,760	4,226	
繰延税金負債	5		13		8	9	
売上割戻引当金	1,314		3,364		2,050	2,752	
賞与引当金	824		3,603		2,779	3,746	
役員賞与引当金	60		56		△ 4	68	
その他	8,007		2,754		△ 5,253	2,651	
流動負債合計	90,646	31.0	95,711	31.9	5,065	91,642	31.4
固定負債							
社債	10,500		10,500		—	10,500	
長期借入金	17,695		17,518		△ 177	17,715	
繰延税金負債	7,732		7,938		206	6,551	
退職給付引当金	2,296		2,169		△ 127	2,498	
役員退任慰労引当金	852		177		△ 675	848	
その他	1,959		2,277		318	1,973	
固定負債合計	41,036	14.0	40,581	13.5	△ 455	40,087	13.8
負債合計	131,683	45.0	136,293	45.4	4,610	131,730	45.2
(純資産の部)							
株主資本							
資本金	24,104		24,104		—	24,104	
資本剰余金	29,432		29,432		—	29,432	
利益剰余金	88,786		92,013		3,227	87,267	
自己株式	△ 2,655		△ 3,801		△ 1,146	△ 2,653	
株主資本合計	139,667	47.7	141,749	47.3	2,082	138,150	47.4
評価・換算差額等							
その他有価証券評価差額金	3,416		3,053		△ 363	3,811	
繰延ヘッジ損益	105		318		213	28	
為替換算調整勘定	△ 1,790		△ 2,334		△ 544	△ 1,497	
評価・換算差額等合計	1,731	0.6	1,036	0.4	△ 695	2,342	0.8
少数株主持分	19,741	6.7	20,824	6.9	1,083	19,515	6.6
純資産合計	161,140	55.0	163,609	54.6	2,469	160,007	54.8
負債純資産合計	292,823	100.0	299,903	100.0	7,080	291,737	100.0

(2) 四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	前第3四半期 連結会計期間		当第3四半期 連結会計期間		増 減	前連結会計年度	
	〔自 平成18年12月 1日 至 平成19年 8月31日〕		〔自 平成19年12月 1日 至 平成20年 8月31日〕			〔自 平成18年12月 1日 至 平成19年11月30日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
売 上 高	351,101	100.0	355,845	100.0	4,744	468,006	100.0
売 上 原 価	266,926	76.0	276,075	77.6	9,149	356,299	76.1
売 上 総 利 益	84,175	24.0	79,769	22.4	△ 4,406	111,707	23.9
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	72,291	20.6	70,099	19.7	△ 2,192	95,882	20.5
営 業 利 益	11,884	3.4	9,670	2.7	△ 2,214	15,824	3.4
営 業 外 収 益	987	0.3	1,052	0.3	65	1,344	0.3
受 取 利 息 及 び 配 当 金	496		557		61	747	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	101		72		△ 29	122	
そ の 他	390		422		32	474	
営 業 外 費 用	905	0.3	923	0.2	18	1,332	0.3
支 払 利 息	502		558		56	698	
そ の 他	403		365		△ 38	634	
経 常 利 益	11,966	3.4	9,798	2.8	△ 2,168	15,836	3.4
特 別 利 益	677	0.2	1,297	0.3	620	711	0.1
固 定 資 産 売 却 益	24		223		199	26	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	98		12		△ 86	141	
子 会 社 株 式 売 却 益	—		987		987	—	
助 成 金 受 入 額	373		—		△ 373	373	
そ の 他	180		73		△ 107	169	
特 別 損 失	828	0.2	820	0.2	△ 8	1,355	0.3
固 定 資 産 売 却 損 及 び 除 却 損	568		419		△ 149	768	
そ の 他	260		400		140	587	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	11,815	3.4	10,276	2.9	△ 1,539	15,192	3.2
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	4,991	1.4	4,325	1.2	△ 666	4,628	1.0
法 人 税 等 調 整 額	389	0.1	88	0.0	△ 301	2,413	0.5
少 数 株 主 利 益	624	0.2	607	0.2	△ 17	822	0.1
四 半 期 (当 期) 純 利 益	5,809	1.7	5,255	1.5	△ 554	7,328	1.6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	期 別	前第3四半期	当第3四半期	対前第3四半 期 比	前連結会計年度の連結
		連結会計期間	連結会計期間		キャッシュ・フロー計算書
		(自 平成18年12月 1日 至 平成19年 8月31日)	(自 平成19年12月 1日 至 平成20年 8月31日)		(自 平成18年12月 1日 至 平成19年11月30日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー					
税金等調整前四半期(当期)純利益		11,815	10,276	△ 1,539	15,192
減価償却費		9,304	9,719	415	12,388
のれん償却額		23	25	2	31
持分法による投資利益	△	101	72	29	122
投資有価証券評価損		5	18	13	35
ゴルフ会員権評価損		-	6	6	0
退職給付引当金の増加額(減少額△)	△	110	131	△ 21	287
前払年金費用の減少額(増加額△)	△	2,576	2,693	△ 117	3,514
役員退任慰労引当金の増加額(減少額△)	△	379	675	△ 296	374
売上割戻引当金の増加額(減少額△)		1,515	2,050	535	76
役員賞与引当金の増加額(減少額△)	△	19	5	14	24
賞与引当金の増加額(減少額△)		2,933	2,778	△ 155	11
貸倒引当金の増加額(減少額△)	△	85	66	19	114
受取利息及び受取配当金	△	496	557	△ 61	747
支払利息		502	558	56	698
投資有価証券売却損(益△)	△	97	2	95	138
子会社株式売却損(益△)		-	987	△ 987	-
固定資産売却損(益△)及び除却損		544	195	△ 349	741
売上債権の減少額(増加額△)	△	1,376	3,197	△ 1,821	524
たな卸資産の減少額(増加額△)	△	1,539	3,018	△ 1,479	1,042
仕入債務の増加額(減少額△)		1,296	14,235	12,939	367
未払金の増加額(減少額△)		201	6,470	△ 6,671	754
未払消費税等の増加額(減少額△)		776	412	△ 1,188	840
その他	△	4,843	4,987	△ 144	1,441
小 計		17,291	16,585	△ 706	24,953
利息及び配当金の受取額		425	880	455	585
利息の支払額	△	479	546	△ 67	679
法人税等の支払額	△	2,679	6,236	△ 3,557	2,528
営業活動によるキャッシュ・フロー		14,558	10,682	△ 3,876	22,331
II 投資活動によるキャッシュ・フロー					
有価証券の売却による収入		8	-	△ 8	8
有形固定資産の取得による支出	△	7,953	9,523	△ 1,570	10,195
無形固定資産の取得による支出	△	263	243	20	659
投資有価証券の取得による支出	△	285	128	157	347
投資有価証券の売却による収入		718	78	△ 640	1,073
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入		-	1,852	1,852	-
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出		-	28	△ 28	-
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入		-	90	90	-
貸付けによる支出	△	300	448	△ 148	668
貸付金の回収による収入		37	197	160	604
定期預金の預入れによる支出	△	258	9	249	328
定期預金の払戻による収入		9	3,583	3,574	18
その他	△	253	338	591	672
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	8,542	4,243	4,299	11,166
III 財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入れによる収入		56,243	66,670	10,427	83,132
短期借入金の返済による支出	△	52,401	64,909	△ 12,508	80,982
長期借入れによる収入		1,300	1,200	△ 100	1,950
長期借入金の返済による支出	△	2,896	2,288	608	4,101
少数株主からの払込による収入		-	179	179	-
配当金の支払額	△	2,218	2,132	86	2,218
少数株主への配当金の支払額	△	146	211	△ 65	146
自己株式取得による支出	△	385	1,145	△ 760	387
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	505	2,638	△ 2,133	2,757
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		61	155	△ 216	10
V 現金及び現金同等物の増加額(減少額△)		5,571	3,645	△ 1,926	8,396
VI 現金及び現金同等物の期首残高		21,212	27,699	6,487	21,212
VII 新規連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額		-	27	27	-
VIII 連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の減少額	△	1,909	-	1,909	1,909
IX 現金及び現金同等物の期末残高		24,874	31,373	6,499	27,699

(4) 四半期連結セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成18年12月1日 至平成19年8月31日)

(単位 百万円)

	食品事業	物流事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	282,329	68,771	351,101	—	351,101
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	11	18,069	18,080	(18,080)	—
計	282,341	86,841	369,182	(18,080)	351,101
営業費用	268,942	85,340	354,282	(15,065)	339,217
営業利益	13,398	1,501	14,900	(3,015)	11,884

当第3四半期連結会計期間(自平成19年12月1日 至平成20年8月31日)

(単位 百万円)

	食品事業	物流事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	284,144	71,700	355,845	—	355,845
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8	17,834	17,842	(17,842)	—
計	284,153	89,535	373,688	(17,842)	355,845
営業費用	272,593	88,404	360,997	(14,822)	346,175
営業利益	11,560	1,130	12,690	(3,020)	9,670

前連結会計年度(自平成18年12月1日 至平成19年11月30日)

(単位 百万円)

	食品事業	物流事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	375,841	92,164	468,006	—	468,006
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	14	24,152	24,166	(24,166)	—
計	375,855	116,317	492,173	(24,166)	468,006
営業費用	358,186	114,128	472,314	(20,133)	452,181
営業利益	17,669	2,189	19,858	(4,033)	15,824

(注) ①事業区分の方法

事業区分の方法は、業種別に区分しております。

②各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
食品事業	調味料・加工食品、健康機能、タマゴ、サラダ・惣菜 等
物流事業	運送・倉庫業

③前第3四半期連結会計期間、当第3四半期連結会計期間および前連結会計年度における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、3,063百万円、3,081百万円および4,098百万円であり、その主なものは親会社の管理部門及び連結子会社ケイ・システム㈱と㈱キューピーあいに係る費用であります。

2. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間、当第3四半期連結会計期間および前連結会計年度の本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報は開示しておりません。

3. 海外売上高

前第3四半期連結会計期間、当第3四半期連結会計期間および前連結会計年度の海外売上高がいずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高は開示しておりません。